

なか、

広報

2009 No.49

- 発行日／平成21年 2月12日発行
- 発行／那珂市
- 編集／市長公室企画課
市政情報室広報係
〒311-0192
茨城県那珂市福田1819-5
- ホームページURL (携帯可)／
<http://www.city.naka.lg.jp>
- メールアドレス／
kikaku@city.naka.lg.jp

2 目次／Contents

平成21年 那珂市成人式	2
議会 第4回定例会	4
新型インフルエンザ対策	7
芳野農産工房・芳野市民農園 4月オープン	8
収納率の向上を図っています	10
歴史民俗資料館だより 水鳥	12
平成21年 那珂市消防出初式	14
こんにちは！那珂市消費生活センターです	15
まちの話題	17
協働のまちづくり—市民活動団体を紹介します—	20
Information	22
環境ミニトピックス ほか	24
市立図書館へ行こう！ ほか	26
さわやかさん、表紙の裏側 ほか	28



未来に活!! 夢に向かう若い力 (那珂市成人式)

雛祭とは…？

三月三日は五節句(※)の一つ上巳の節句で、一般的には桃の節句や雛祭と呼ばれ親しまれています。起源は、中国の上巳節という、三月巳の日に身の穢れを払う行事が日本に伝わったもので、平安時代、三月巳の日に無病息災を祈願する行事が貴族の間で行われていました。自分の災いや穢れを身代わりとなる「形代」にうつし川に流すもので、形代は紙や木で作られた人の形をした簡素な物でした。

これとは別に天児と這子を子供の厄除けのために飾る風習もありました。天児は棒を十字に組み着物を着せたもので、子供の枕元に飾りました。一方這子は、布製の簡単な作りの人形で、厄除けとして子供の身に付けさせました。江戸時代の記録に、この天児を雄雛、這子を雌雛にみたて飾る様子が描かれています。



左：這子 右：天児
土浦市立博物館 図録『人形名撰 横浜の家のコレクション』より

水鳥

やがて人形は、次第に女兒の手遊びにも用いられ「ひいな」と呼ばれるようになります。ひいな遊びをする女兒の姿が源氏物語にも描かれています。いつしか、上巳の節句とひいな遊びが結びつき雛祭の原形となったといわれています。そして、現在のように、人形を飾りお祝いするようになったのは江戸時代になってからです。江戸中期には女兒のための行事として定着しました。



江戸時代の雛祭の様子

歌川国貞「風流古今十二月ノ内弥生」天保年間(1830~43)
河出書房新社『江戸子ども百景』より

8

歴史民俗資料館では恒例となりました雛人形展を2月7日より今年も開催しています。それに合わせ、今回は雛祭と雛人形についてご紹介します。

※【五節句】

一月七日…人日(七草)の節句
三月三日…上巳(桃)の節句
五月五日…端午(菖蒲)の節句
七月七日…七夕(星)の節句
九月九日…重陽(菊)の節句

『雛祭豆知識』

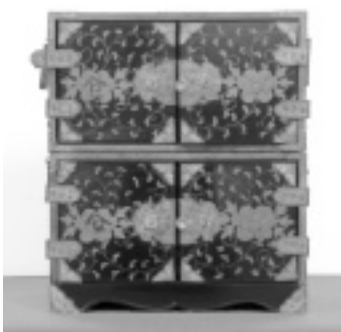
①お内裏様とお雛様の並べ方

雛人形は宮中の様子を模したもので、お内裏様とお雛様は天皇・皇后とされています。その昔、向かって右が尊い席とされていたため、お内裏様が配されました。ところが、明治時代、文明開化とともに西洋の文化が取り入れられるようになると、公の場で上席を女性に譲るようになりました。大正天皇の即位式には、上席を皇后に譲られ、天皇が向かって左側に立たれたそうです。昭和天皇の即位式においても同様で、人形業界では、この昭和天皇の即位式に倣って雛人形の並べ方も左右逆にしたとされています。

一方、関西では宮中のしきたりを守り、今でも向かって右にお内裏様、左にお雛様を飾るところが多いようです。

②雛道具に込められた願い

雛道具は、お雛様の嫁入り道具です。七段飾りを基準に見てみると、下2段にそれらの道具が飾られます。筆筒やお茶の道具など、豪華な道具が並びますが、それらの多くには葛模様の蒔絵が施されています。葛は生命力が強く茎をどんどん伸ばすことから、長寿や繁栄の象徴とされています。婚礼道具にこの葛を途切れることなく描くことにより、成長して嫁いだ後も永久に繁栄するようにとの願いが込められているのです。



葛模様蒔絵が施された雛道具



菱の葉

成美堂出版『野草・雑草観察図鑑』より

③ 雛祭に菱餅を飾るのはなぜ？
ほとんどの雛壇に菱餅が飾られます。緑・白・桃色の三色は雛壇を一層華やかに彩ります。この菱餅にもちゃんと意味があるのです。
まずは色ですが、雪の地面（白）から草木が芽吹き（緑）花を咲かせる（桃色）様子、すなわち春の訪れを表しています。加えて、宮中では桃色の餅にはクちなシ、緑の餅には蓬をいれ色をつけたそうです。いずれにも薬効があるため子どもに薬効を教える意味もあるとも言われています。また、形は菱形の鋭角で厄を遠ざけるとか、魔よけの意味のある菱の実の葉を模したとか、心臓を模ったものとか諸説あります。
いずれにしても、菱餅のような小さな物にも子が無事に育つようにとの願いが込められていたのです。

季節展示「雛人形展」のお知らせ

当館所蔵のほか市民の皆様よりお借りした雛人形を展示します。また、つるし雛もあわせて展示し、展示室を色鮮やかに演出します。

◆日時 2月7日(土)～3月15日(日)
9時～16時30分

(入館受付は16時)
※毎週月曜日休館

◆場所 市歴史民俗資料館 多目的ホール

◆入館料 無料

《講演会》

○日時 3月8日(日)
10時～11時30分

○場所 市歴史民俗資料館 多目的ホール

○講師 桂雛人形師 小佐畑 孝雄 氏

○テーマ 「重ね色の世界」

○定員 40人 ※定員になり次第締切

○申込方法 電話でお申込ください。

○申し込み・問い合わせ

歴史民俗資料館 ☎297-0080

『歴史民俗資料館に飾られる人形』

横須賀家 檀飾り雛

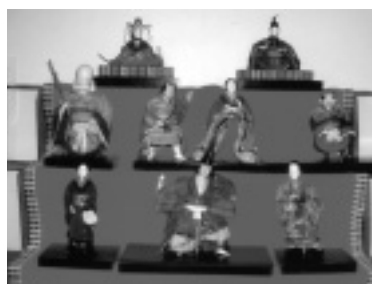
当館に収蔵されている雛人形のうち、最も古い(時代が判明している物の中で)お雛様です。明治7年に当家の長女誕生の際買い求められた物です。内裏雛は大きさが30cmもあり、面長に切れ長の目、鼻筋が通った上品な顔立ちをしており、古今雛(現代の雛人形の元となったとされる江戸後期につくられたお雛様)の様相を呈する大変立派なお雛様です。しかし、何といっても特徴的なのは一緒に飾られる人形です。三人官女や五人囃子などが一般的ですが、横須賀家の雛壇には、内裏雛の

他、小野小町と従者・大黒天・福祿寿・三番叟・小夏(浄瑠璃劇に登場する美女・源太(文楽人形に登場する二枚目)が飾られます。

というのは、明治の初期の頃は、女児の誕生にあわせ親戚縁者から内裏雛のほかに縁起のよい人形が単体で贈られ、それを段に飾る風習があったそうです。横須賀家でも、人形が集まってから大工に頼んで雛壇をあつらえ、お道具と共に段飾りにしたそうです。

実は、桃の節句に飾る人形に決まりは無いそうなのです。雛人形が一般的ではありますが、そもそも子供の成長を祈り贈る雛人形。個人で気に入った人形を好きなように飾るのも良いそうです。中には、普段可愛

がっているぬいぐるみを雛人形と一緒に雛壇に飾るといってお宅もあるようです。
今年の雛祭には、女の子のいるご家庭では、娘さんと一緒にいつもと少し違った雛飾りを楽しんでみてはいかがでしょうか。



横須賀家雛人形

トピック

人形店「祐月」より
雛壇が寄贈されました

資料館へ寄贈される古いお雛様には、破損や老朽化により雛壇がないことが多く、展示にも苦労していましたが、それを聞きつけた水戸市末広町の人形店「祐月」で、「雛人形展を盛りたてられれば」と展示で使用した雛壇を無償で寄贈してくださいました。

このご好意で今まで以上に展示が引き立つこと間違いありません。